

陳情第6号 介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、 複数配置をあたりまえにすることを求める意見書の

提出を求める陳情

討論一覧(討論順掲載)

賛成討論 門原武志 議員

陳情の説明では、介護施設で、1人で夜勤している職員が、急病で倒れ、朝、出勤してきた同僚に、亡くなっているのが発見された事例が紹介された。もしもう1人、職員がいれば助かったかもしれない。また事故や災害があれば、施設入所者の生命が危険にさらされたところだ。陳情審査では、介護保険制度の抜本的な改善が必要だとの意見があった。公費負担が少なく、保険料が高い。この是正が必要だ。同時に、制度が抜本的に改善される前にも、職員の配置基準を増やし、そのための公費投入などすべきだ。

反対討論 水川淳 議員

陳情第5号と同様に財源確保が課題となり、将来の負担とのバランスを十分に考慮しなければならない。政府は最先端技術を駆使(ロボットなど)した介護環境を実現することを優先し、現在その取り組みの途上にあることから、その推移を見守り、陳情には不賛同。